

福岡市科学館

年 報

—平成29年度版—



福岡市科学館
FUKUOKA CITY SCIENCE MUSEUM

目次

館長 挨拶	1
1. 館概要	
(1) 設置目的	2
(2) 沿革	2
(3) 事業コンセプト	3
(4) 運営基本方針	3
(5) 福岡市科学館の約束	4
(6) ロゴマーク	4
(7) 施設概要	5
① 3F 平面図	5
② 4F 平面図	5
③ 5F 平面図	6
④ 6F 平面図	6
⑤ 諸室面積	7
⑥ 建物の概要	7
⑦ 工事関係者	8
(8) 管理運営	9
① 組織体制	9
② 各種会議体	10
③ 展示更新プロジェクト分科会	11
2. 平成 29 年度事業報告	
(1) 利用状況	11
① 月別利用状況	11
② 団体利用状況	11
(2) 展示事業(基本展示、企画展示)に関する業務	12
① 基本展示業務	12
② 企画展示業務	13
(3) ドームシアター(プラネタリウム)事業に関する業務	16
① 投映業務の実施状況	16
(4) その他教育普及事業に関する業務	24
① 演示	24
② 体験学習	26

③ 学校連携	35
④ アウトリーチ活動(移動天文台事業・移動科学館事業含む)	36
⑤ サイエンスナビ活動	37
(5) 交流事業に関する業務	38
① 地域交流	38
② 科学館ファンクラブの登録者数及び運営業務の実施状況	40
③ リピー特利用に向けた取り組み	40
④ 各種媒体・手法等による広報・情報発信の実施状況	40
(6) 人材育成、ネットワーク形成事業に関する業務	42
① 子ども参画	42
② 運営サポーター	42
③ 連携事業	45
(7) 調査研究事業に関する業務	45
① 九州大学との共同研究	45
② 外部発表等(執筆等)	46
③ 外部発表等(口頭発表)	46
(8) 科学館諸室貸出管理業務	46

館長 挨拶

福岡市科学館は2017年10月にオープンしました。新しい科学館として、「人が育ち、未来をデザインしていく科学館」という新しい理念を立てています。「人が育つ」ことを何よりも大事にしたいという思いです。科学は「人が育つ」きっかけという位置づけです。科学や自然に好奇心を持つと、それは疑問を持ち、考えをめぐらせ、創造性を磨くことへと進んでいきます。このような道筋こそが「人が育つ」プロセスだと思います。科学館ではそのための工夫をあちこちに仕掛けています。そして、関心の高さによってどのような人にも興味を持てるプログラムを用意しています。また、科学館を人が集う楽しい空間として創造する取り組みも進めています。科学者・クリエイターと市民がいて、人と人が交流し、ともに成長できるしくみを作っていきます。

さらに、科学館の外に出て、地域での活動も展開していきます。人が集う空間は市内のあちこちにあるので、それらの間で連携すれば、より多くの空間がより楽しいものにできるはずです。福岡市全体がいわば科学館の「展示品」であり、「活動キャンパス」と見立てるといことです。将来的には、いろいろな人々・団体との協働プログラムを開発し、子どもたちが社会のなかで成長できる環境づくりに貢献することをお約束します。

このような科学館に仕上げていくためには、市民の皆様の知恵と感性がぜひとも必要です。新しい科学館を市民の皆様とともに創り上げるため、ご協力のほどよろしくお願いします。

福岡市科学館

館長 伊藤 久徳

1. 館概要

(1) 設置目的

子どもたちを始め市民が科学を体験し、楽しむことを通じて、自由かつ自発的に学習することを支援するとともに、福岡の人及び資源と連携し、福岡の将来を担う人材を育成することにより、市民の文化教養の向上に寄与することを目的として設置されました。

(2) 沿革

年 月 日	事 項
2016年(平成28年)3月25日	福岡市科学館特定事業に関する事業契約の締結
2016年(平成28年)4月1日	設計業務及び開業準備業務のスタート
2016年(平成28年)4月1日	初代館長に伊藤久徳就任、プロジェクトアドバイザーに高安礼士就任
2016年(平成28年)6月20日	科学館ホームページ開設
2016年(平成28年)7月1日	科学技術振興機構より「科学技術コミュニケーション推進事業ネットワーク形成型」を受託
2016年(平成28年)8月1日	国立大学法人九州大学と組織対応型連携契約を締結
2016年(平成28年)9月10日	福岡市植物園にて、福岡市科学館の開館1年前記念イベント開催
2016年(平成28年)10月1日	着工
2017年(平成29年)1月	科学館ロゴデザイン決定
2017年(平成29年)4月1日	エルガーホールにて、福岡市科学館の開館半年前記念イベント開催 移動科学館車・移動天文車のお披露目
2017年(平成29年)8月31日	竣工
2017年(平成29年)9月30日	開館記念式典
2017年(平成29年)10月1日	科学館オープン 名誉館長に若田光一就任(若田名誉館長開館記念講演会)
2018年(平成30年)2月3～4日	「サイエンスアゴラ in 福岡」開催
2018年(平成30年)2月11日	利用者50万人達成
2018年(平成30年)2月15～16日	「全国科学博物館協議会総会・研究発表大会」開催
2018年(平成30年)3月24～28日	「世界天文コミュニケーション会議2018 in 福岡」開催

(3) 事業コンセプト

「サイエンス＆クリエイティブ FUKUOKA」

科学と感性の交流拠点として

福岡から未来を創造していく科学館

福岡市の持つポテンシャルを最大限にいかし、科学と感性を融合させた新しい活動展開を行うとともに、科学館を拠点とした福岡における新たな交流と人材育成を図り、福岡の人々とともに未来の福岡を共に創造していく「未来創造型のミュージアム」をめざします。

(4) 運営基本方針

人が育ち、未来をデザインしていく科学館

福岡市科学館は地域とともに人の成長を支えることを第一に考えます。

人は生まれたときから能動的な学習者であり、周りの人々を含む環境と相互作用しながら育ちます。科学館は、その育つ環境を科学の面からつくるものであり、成長を支えるものと考えています。

ひとりの人が育つには、自らが好奇心を抱き、疑問を持ち、考えを進め、創造性を磨くことが必須です。

そしてそのような経験を経た人は豊かな社会性をも身につけられるはずです。

そのような子どもたちを中心とする人の成長を支援するという意味を込めて、「人が育つ」科学館を目指します。

福岡市科学館は「人が育つ」しくみを様々に工夫していきます。

そのためには、何よりも展示やプログラムが子どもたちを始めとしてすべての人に楽しいものでなくてはなりません。

常に「科学の見せ方・示し方」を工夫・更新し、心に響く驚きと喜びを生み出します。

そしてそれを疑問・探求・創造へとつなげていきます。また人と人の交流と協働を大切にします。

人は、人との交流によって新たな世界が広がり、人との協働によって未来を描くことができるからです。

同時に私たちは、「人が育つ」ことを社会的な広がりのなかで捉えています。

すなわち、「人が育つ」社会・地域づくりをも担うということです。

そのためには、他の文化施設・研究機関等さまざまな機関と連携し、家庭・学校・地域の団体等と協働する必要があります。

そしてその延長として、子どもたちの可能性ある未来と「科学は文化」と認知される社会を展望しています。

これらのことを「未来をデザインする」という言葉で表現しています。

(5) 福岡市科学館の約束

福岡市科学館は次のことをお約束します。

ほぼすべての項目で人が主語になり、またそのために福岡市科学館は何をなすべきかを明記しています。

1. 科学を担う人やクリエイターなどと市民とが交流することによって、新しいサイエンスコミュニケーションのあり方を提案していきます。
2. 幼児から高齢者までに対応する展示とプログラムを充実することによって、すべての人が科学を楽しみ、創造するよろこびがある科学館をつくれます。
3. 子どもたちの好奇心・疑問・考える力・創造性が育つ機会を提供することによって、一人ひとりの科学する力が伸びることに寄り添います。
4. 多様な市民、科学者、教員、保護者などと科学の協働プログラムを開発することによって、子どもたちが社会のなかで成長できる環境づくりに貢献します。
5. 福岡の人、モノ、コトなど、様々な資源を活用することによって、市民が科学的な視野で地域とその未来をデザインし、発信する活動を支援します。
6. 利用者との対話・交流を進めることによって、施設や事業の改善に努め、日々進化する科学館を目指します。

(6) ロゴマーク

Original Viewpoint / 独自の着眼点

すべての発見のスタートラインは、疑問を持つこと。

身のまわりのあらゆることに、独自の感性でレンズを向け、
ミクロあるいはマクロの世界を見つめることで生まれる気づきの連続。
それは、発見と新たな疑問、そして限りない可能性を与えてくれる。

レンズを通して見えるものは、すべてが科学の世界。

何にレンズをかざしてどこに着眼するか、その独自性を尊重して、
だれもが疑問を自ら解き明かし、発見する驚きと喜びを体験する場。
福岡市科学館は、「サイエンス＆クリエイティブ」で新たなステージへ。

科学に不可欠な「着眼点」を表現したロゴマーク。

フォーカスすることで、気づきや発見をもたらすレンズであり、
空から眺めた福岡市科学館のシルエットでもある。

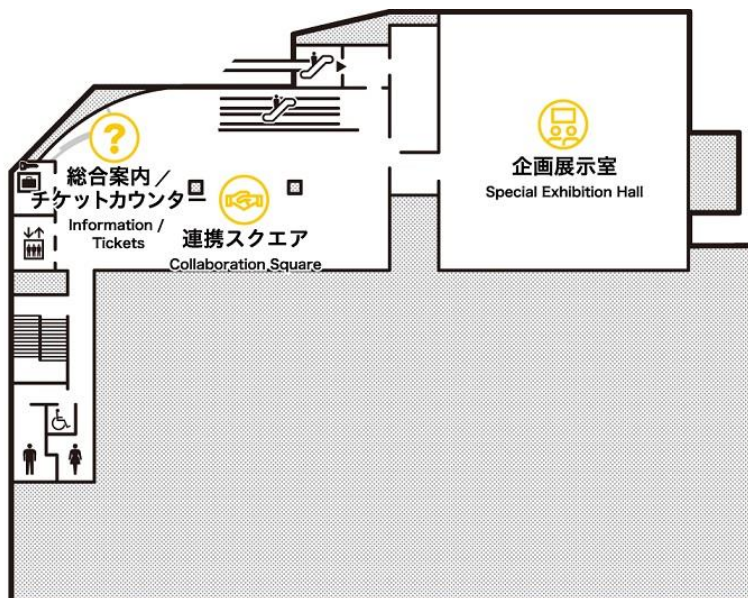
ただし、着眼点次第で見え方は無限。あなたは何に見えるだろうか。



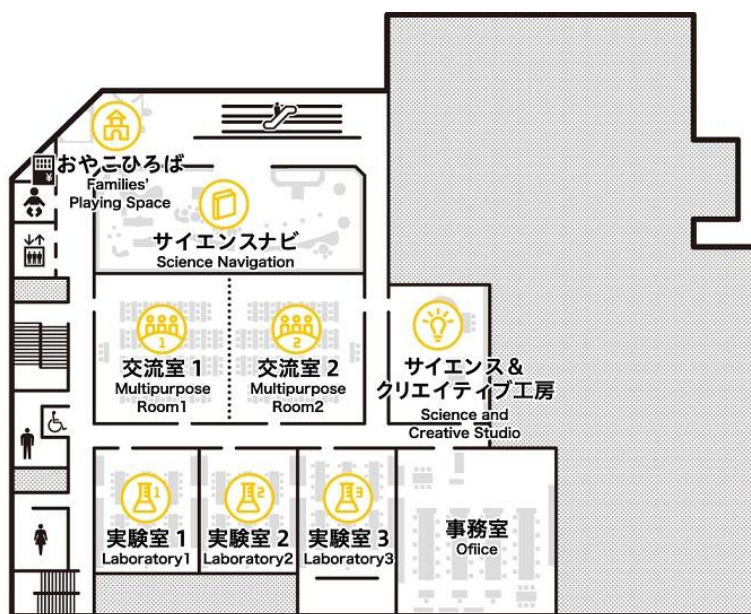
(7) 施設概要

福岡市科学館は、複合商業施設「六本松421」内の3F～6F に設置。

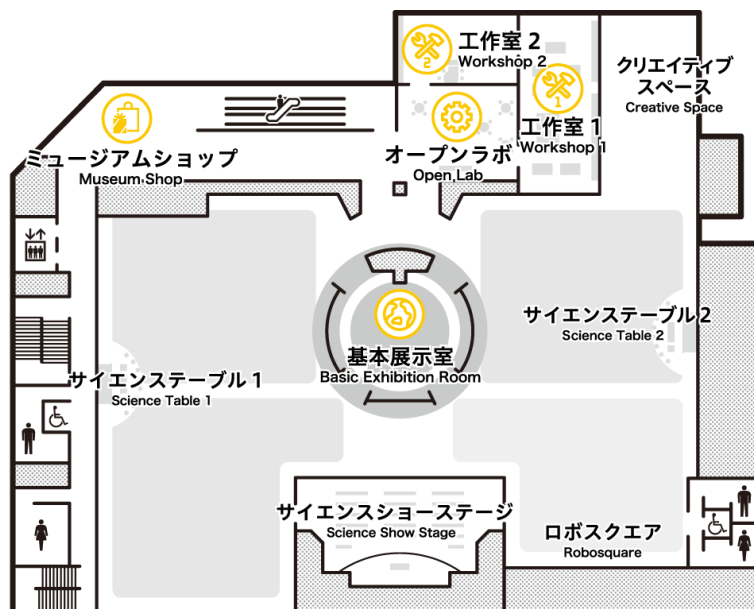
① 3F 平面図



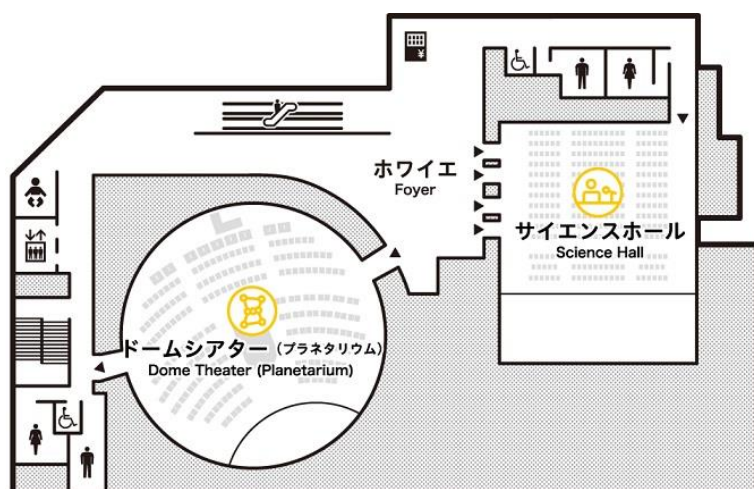
② 4F 平面図



③ 5F 平面図



④ 6F 平面図



⑤ 諸室面積

階	名 称	面積(m ²)	席数
6	サイエンスホール	426.51	300
	ドームシアター	463.53	220
	ホワイエ	442.87	—
5	基本展示室	1,895.24	—
	工作室1	120.49	—
	工作室2	72.11	—
	オープンラボ	86.92	—
	ミュージアムショップ	62.50	—
4	サイエンスナビ(※1)	237.32	—
	交流室1	163.11	100
	交流室2	165.08	100
	サイエンス & クリエイティブ工房	111.81	—
	実験室1	104.40	48
	実験室2	100.60	48
	実験室3	133.79	48
3	ウェルカムホール	52.76	—
	エントランスホール	62.68	—
	連携スクエア(※2)	281.40	—
	企画展示室	510.12	—

※1:科学に関する興味や疑問等について、更に多彩な情報を探索できる無料エリアです。

※2:企業展示ブースです。

科学館	延床面積合計(バックヤード含む)	10,150	
-----	------------------	--------	--

⑥ 建物の概要

建物名称	六本松421
所在地	福岡県福岡市中央区六本松4-2-1
用途	複合型商業施設
敷地面積	約9,946m ²
総延床面積	約37,000m ²

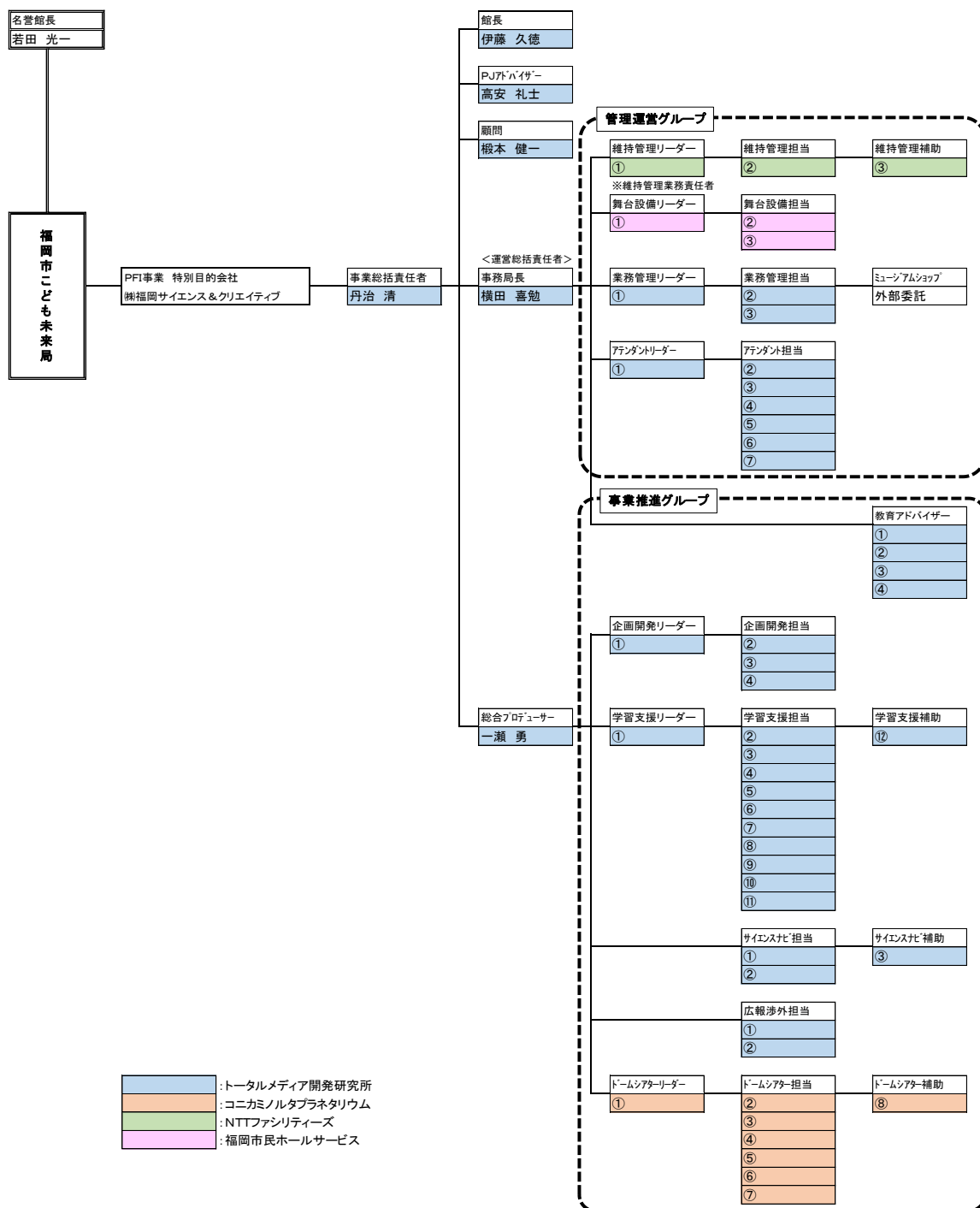
⑦ 工事関係者

A.設計	企業名
・建設,設備	株式会社NTTファシリティーズ 株式会社匠建築研究所設計共同事業体
・展示	株式会社トータルメディア開発研究所
・ドームシアター	コニカミノルタプラネタリウム株式会社
B.施工	企業名
・内装,建築	日建建設株式会社
・電気設備	株式会社島田電気商会
・機械設備	山本設備工業株式会社
・什器,備品	宮川建設株式会社
・展示工事	株式会社トータルメディア開発研究所
・ドームシアター工事	コニカミノルタプラネタリウム株式会社

(8) 管理運営

① 組織体制

(平成 30 年 3 月 31 日現在)



② 各種会議体

分類	会議名称	開催頻度	目的・内容等
福岡市	指定管理者 評価委員会	2回／年 (予定)	福岡市が設置する第3者による事業評価委員会。事業者が行う自己評価結果を報告し、客観的な評価と総合して目標達成指標に対する定量的な評価と、事業プログラムの定性的な価値評価を提示し、評価結果を積極的に公開していくことで、事業者による運営状況の透明性の確保と利用者への説明責任の対応を図る。
事業者	運営連絡協議会	1回／月	科学館の運営・維持管理業務について、直近の実績と今後の計画について福岡市に報告・調整を行うほか、関連する情報の共有や協力体制の検討を行う。
	コアメンバー会議	1回／月	館を運営する事業者の幹部で構成され、館のミッションと事業内容との調整を図る。
	サイエンス コミュニケーション 開発会議	4回／年	館長を含む有識者で構成され、今後の館運営の方向性や更新テーマの検討を行う。
	展示更新 プロジェクト 分科会	随時	サイエンスコミュニケーション開発会議で提示された更新テーマに基づき、テーマに精通した研究者やクリエイターと館スタッフで組織され、具体的な展示更新や新規学習支援プログラムの開発を行う。
	外部評価委員会	1回／年	事業者が設置する外部有識者による事業評価委員会。前年度の事業報告に対する評価・提言等を行う。

③ 展示更新プロジェクト分科会

常時4プロジェクトを実施し、平成29年度は以下の4つの分科会を開催しました。

- ・新しい科学の動向と情報分科会
- ・新たなサイエンスコミュニケーションと市民参画プログラム分科会
- ・展示・プログラム分科会
- ・クリエイター参画分科会

2. 平成29年度事業報告

(1) 利用状況

① 月別利用状況

(単位:人)

項目	2017年度(平成29年度)							構成比
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	
開館日数(日)	26	26	24	26	24	28	154	
利用者数	143,633	111,142	93,430	117,298	93,941	163,400	722,844	100%
1日平均	5,524	4,275	3,893	4,511	3,914	5,836	4,694	—
ドームシアター	34,000	28,590	23,395	25,758	20,608	27,689	160,040	22%
基本展示室	62,497	45,497	40,182	49,490	40,720	61,272	299,658	41%
企画展示室	10,971	7,317	7,965	13,395	2,675	25,251	67,574	9%
サイエンスナビ	34,643	23,994	18,223	23,604	25,111	29,315	154,890	21%
その他(※1)	1,522	5,744	3,665	5,051	4,827	19,873	40,682	6%

※1:各種体験学習プログラムの実参加人数と貸室利用人数を集計したものです。

② 団体利用状況

(単位:団体)

項目	2017年度(平成29年度)							構成比
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	
開館日数(日)	26	26	24	26	24	28	154	
団体来館数	106	94	88	66	116	97	567	100%
1日学習(※2)	26	26	17	25	29	9	132	23%
学校等団体	54	29	46	28	56	38	251	44%
一般団体	25	36	25	12	31	50	179	32%
行政視察等	1	3	0	1	0	0	5	1%

※2:福岡市立小学校の4年生向け学習プログラムです。

(2) 展示事業(基本展示、企画展示)に関する業務

① 基本展示業務

「宇宙」「環境」「生活」「生命」と、未来について考える「フューチャー」からなる参加体験型の展示を通じて、興味・関心(ライフ)→科学の見方(ワンダー)→福岡の未来(フューチャー)を体験し、来館者が科学とその見方を楽しく学べるものとなりました。

展示テーマ	展示内容
宇宙	宇宙の広がりや様々な方面からアプローチした地球の姿などを体験しながら学びます。
環境	地球の環境や生態系、エネルギーの使われ方などを知り、環境の大切さを学びます。
生活	交通システムや地震対策、新しいテクノロジーなど、暮らしを支える技術を紹介します。
生命	体のしくみ、生物の進化などの生命の不思議や最新の医療技術について学びます。
フューチャー	日常生活の不思議を、サイエンスとクリエイティブの両方の視点からの発想し、また、科学の力で新しい星をつくりだすなど、自分たちの未来を考えます。



テーマ:宇宙



テーマ:環境



テーマ:生活



テーマ:生命



テーマ:フューチャー

② 企画展示業務

1) 特別展

(1)開館記念特別展「宇宙なひと～つながり、時空を超えて～」

[1] 開催趣旨 宇宙飛行士や探査機が宇宙空間で行うミッションは、それを支える多くのひとの想いと様々な知識や技術に支えられています。開発・研究を行う福岡県内の大学研究室をふくめ、宇宙に関わるさまざまなひととそれぞれの役割、科学的分野や時間を超えた「ひととひととのつながり」を紹介します。

[2] 開催期間 2017 年 10 月 1 日(日)～2018 年 1 月 21 日(日) 開催日数 93 日

[3] 入場者数 39,648 人

[4] 会場 3 階 企画展示室

[5] 主催 福岡市科学館

[6] 後援 NHK福岡放送局、西日本新聞社、
福岡市教育委員会

[7] 企画制作 株式会社福岡サイエンス&クリエイティブ、
NHKエデュケーショナル、NHKART

[8] 特別協力 キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

[9] 協力 宇宙航空研究開発機構(JAXA)、国立天文台、国立極地研究所、九州大学、九州工業大学宇宙環境技術ラボラトリー、東京大学宇宙線研究所、浜松ホトニクス株式会社、東京都国分寺市、かかみがはら航空宇宙科学博物館、明石市立天文科学館、日本宇宙フォーラム、日本モデルロケット協会

[10] 入場料 大人 1,000 円、高校生 800 円、小・中学生 600 円、未就学児無料

基本展示+特別展セット券 大人 1,300 円、高校生 900 円、小・中学生 600 円

[11] 展示内容 若田光一宇宙飛行士が撮影した地球の絶景4K映像、NASA 火星探査機「キュリオシティ」の実物大模型、ペンシルロケットの尾翼、「H3ロケット」の 1/20 模型等

[12] 関連イベント

内容	実施日	場所
「宇宙なひと」に挑戦！ ①エラステネス編	10月21日(土)	5階 工作室
「宇宙なひと」に挑戦！ ②ガリレオ編	11月3日(金/祝)	5階 工作室
「宇宙なひと」に挑戦！ ③アインシュタイン編	1月13日(土)	5階 工作室
JAXA フライトディレクタ 西川岳克氏の講演会	11月23日(木/祝)	6階 サイエンスホール



内容	実施日	場所
金井宇宙飛行士が搭乗するソユーズ宇宙船の打上げライブ中継	12月17日(日)	3階 企画展示室
「しきさい」「つばめ」の打上げライブ中継	12月23日(土)	3階 企画展示室
なりきり宇宙飛行士！VR体験	12月25日(月),12月26日(火) 1月8日(月)	6階 サイエンスホール
宇宙ビジネス最先端 ～衛星利用とデブリ回収～講演会	1月13日(土)	6階 サイエンスホール
サイエンスショー 上空400km、ISSの世界	会期中の土日祝	5階 基本展示室内 サイエンスショーステージ
紙コップでつくるロボットアーム	10月1日(日),7日(土),8日(日), 9日(月/祝),28日(土),29日(日), 11月11日(土),12日(日), 25日(土),26日(日), 1月20日(土),21日(日)	4階 実験室3 5階 工作室

(2) 特別展「恐竜: DINOSAUR～よみがえる恐竜のすがた～」

- [1] 開催趣旨 化石をもとに恐竜に命を吹き込む作業、すなわち「恐竜の復元」をテーマに、現在の恐竜像について多様な骨格標本や復元模型、ロボット等で科学的に恐竜を紹介します。
- [2] 開催期間 2018年3月17日(土)～5月13日(日)
開催日数 53日
- [3] 入場者数 25,251人(3月31日時点)
- [4] 会場 3階 企画展示室
- [5] 主催 福岡市科学館、読売新聞社、FBS 福岡放送
- [6] 特別協力 福岡県立恐竜博物館
- [7] 後援 福岡市教育委員会、福岡県、福岡県教育委員会、
FM FUKUOKA、九州旅客鉄道株式会社、西日本鉄道株式会社、福岡県私立幼稚園振興協会、福岡県保育協会、福岡県PTA連合会、福岡市私立幼稚園連盟、福岡市保育協会、福岡市PTA協議会
- [8] 協賛 株式会社 スターフライヤー
- [9] 入場料 一般 1,200(1,000)円、高校生 900(700)円、4歳以上中学生 700(500)円
カッコ内は前売、および30人以上の団体料金
- [10] 展示内容 アクロカントサウルス全身骨格、トリケラプス全身骨格、餌やりロボットブラキオサウルス等



[11] 関連イベント

内容	実施日	場所
福井県立恐竜博物館 野田芳和副館長によるオープニングギャラリートーク	3月17日(土)	3階 企画展示室
光る恐竜マグネットを作ろう！	3月21日(水/祝),24日(土),25日(日)	5階 工作室
恐竜絵本おはなし会とミニ工作	3月24日(土)	4階 サイエンスナビ

2) 企画展

(1) 企画展『いたるところに科学』強化月間

- [1] 開催趣旨 館内の「いたるところ」にある、ごく普通のモノやコトを展示物にみたとて、来館者に科学の問いかけを行う。日常生活の中に実は科学がひそんでいることに気付いてもらうことをめざします。
- [2] 開催期間 2018 年 2 月 9 日(金)～2 月 26 日(月)
- [3] 入場者数 クイズラリー参加者 2,934 人、
みんなのギモン参加者 1,233 人、
サイエンスナビ利用者 20,474 人
- [4] 会場 4 階サイエンスナビを中心に館内各所
- [5] 主催 福岡市科学館
- [6] 入場料 無料
- [7] 展示内容 科学館でできること大集合、みんなのギモン大募集、いたるところにあしあと探し、クイズラリー



[8] 関連イベント

内容	実施日	場所
館長ツアー (ガイド:館長 伊藤 久徳)	2月11日(日),12日(月/祝),25日(日)	館内の無料エリア
サイエンスカフェ「発想を広げ思考を深める『連想』の情報学 -連想検索はいざなう情報空間との向き合い方-	2月16日(金)	4階 サイエンスナビ
サイエンススポットまち歩き	2月24日(土)	福岡市科学館界隈



<サイエンスカフェ>



<サイエンススポットまち歩き>

(3) ドームシアター(プラネタリウム)事業に関する業務

① 投映業務の実施状況

1) 投映番組

種別		番組名	投映回数	利用者数
学習投映	オリジナル制作番組	月と星	97	15,057
一般投映	オリジナル制作番組	スペースフロンティア ～宇宙飛行士・この一歩の為に～	221	35,507
		宙語り 2017年冬 太陽系の天体をめぐる旅	122	15,420
		宙語り 2018年春 ハーシェル 天の川銀河を探った天文学者	42	6,751
	全国配信番組	子ども向け		
		それいけ！アンパンマン ～星の色と空の色～	53	10,528
		銀河鉄道999 赤い星ベテルギウス いのちの輝き	46	9,653
		ポケットモンスター サン＆ムーン プラネタリウム	74	13,450
	大人向け	WE ARE STARS	155	20,309
		恐竜の記憶	93	9,948
スペシャル投映	スペシャル番組	サカナクション グッドナイト・プラネタリウム	126	15,250
		Feel the Earth Music by 葉加瀬太郎	53	2,748

A. 一般投映

福岡市科学館では、最新鋭のプラネタリウムシステムを駆使し、宇宙の最新情報を積極的に紹介し、クイズなどの観覧者とのインタラクティブな展開を取り入れるなど、新しいスタイルの生解説投映を実施しました。

・スペースフロンティア ～宇宙飛行士・この一歩の為に～

【2017年10月1日～2018年1月31日、春休み期間】



人類は何故宇宙へ行くのでしょうか？その最前線で活躍する宇宙飛行士はどんな思いで宇宙に行くのでしょうか？1969年に月面に降り立った人類は、2030年代半ばを目標に、火星への有人宇宙探査を計画しています。これまで何度も宇宙でのミッションを成し遂げてきた JAXA 若田宇宙飛行士のナビゲーションと共に、ロケットの打ち上げの瞬間から、火星到着までの壮大な旅をお楽しみいただきました。

・宙語り 2017 年冬 太陽系の天体をめぐる旅

【2017 年 12 月 6 日～2018 年 3 月 5 日】

個性あふれる解説員が季節毎に違ったテーマでお届けする生解説番組。
それが“宙語り”です。さあ、一緒に、宇宙への扉を開きましょう！

宙語り第 1 弾のテーマは、太陽系。

本を開けば、そこには太陽系の世界が広がります。身近な天体である太陽と、その周りを公転している 8 つの惑星の特徴を解説員の語りとダイナミックな映像で紹介しました。



・宙語り 2018 年春 ハーシェル 天の川銀河を探った天文学者

【2018 年 3 月 6 日～5 月 31 日】



宙語り第 2 弾のテーマは、天の川銀河。

都会から離れて、空気の澄んだ夜空に白いもやのように見える天の川。天の川の正体に迫った天文学者ウィリアム・ハーシェルとその研究について紹介しました。

・それいけ！アンパンマン ～星の色と空の色～

【2017 年 10 月 2 日～2018 年 1 月 28 日】

きれいな夕焼けを描くゆうやけまんは、いつも絵筆をふるってきれいな夕焼けを見せてくれています。そのころ、ホラーマンから星にはいろんな色があることと、空は色んな色に変わることを教わるドキンちゃん。「空の色を自由にしたい！」といつものワガママを言い出します。

ゆうやけまんの絵筆を思い出したばいきんまんは、絵筆をむりやり奪ってしまいました！ 青空になったり、星空になったり、夕焼けになったり...

ばいきんまとドキンちゃんのいたずらで、めちゃくちゃになってしまう空の色。アンパンマンは、無事に絵筆を取り返せるのでしょうか？がんばれ、アンパンマン！

・銀河鉄道 999 赤い星ベテルギウス いのちの輝き

【2017 年 10 月 2 日～2018 年 1 月 28 日】

星の海を旅する鉄郎とメーテル、彼らはそこで何を見たのか・・・

地球を飛び立ち、アンドロメダへの旅を続ける999号。オリオン大星雲に近づいたその時、ベテルギウスが放ったガス雲に遭遇する。ベテルギウスは超新星爆発直前の状態で、その一生を終えようとしていたのだ・・・ とその時、ベテルギウスに巨大な爆発が起こる。その爆発により発生したフレアは鉄郎達をものみ込み、999号は機能を停止してしまう。ベテルギウスの重力につかまり落下を始める999号、果たして鉄郎とメーテルは無事に脱出できるのか。

・ポケットモンスター サン&ムーン プラネタリウム

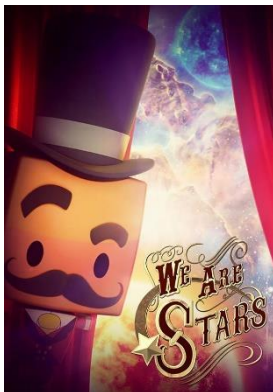
【2018 年 2 月 1 日～5 月 31 日】

明日は皆既日食が見られるとっても珍しい日。それを聞いたサトシ達は、マーマネと一緒に日食がみられる帯の中心部、エクリプス島へ！そこで日食を追いかけて世界中を旅している”日食ハンター”のフレッドと出会い、一緒に日食観測をすることに。一方、ロケット団も日食のときに現れるという珍しいポケモンと、ついでにピカチュウもゲットしようと、山頂へと急ぐサトシ達の目の前に立ちはだかる。

ゼンリョクで見逃すな！太陽と月が奏でる”奇跡の瞬間”

・WE ARE STARS

【2017 年 10 月 12 日～2018 年 1 月 31 日】



©NSC Creative

とある遊園地。「皆さん、宇宙の不思議をその目で見たくはないかな？」
お客さんをテントに呼び込むショーマスターの声が響く。

「宇宙の歴史と皆さんのつながりを教えて差し上げよう」

そのテントの中にあるタイムマシンで、皆さんを「万物が生まれた場所」へ
といざないます。時間をさかのぼり、地球が生まれる前にタイムスリップで
す。星々がまだ輝き出す前、時間の始まりへといざ出発！ 時空を超える旅
へのご招待します。

・恐竜の記憶

【2018 年 2 月 1 日～5 月 31 日】



© 株式会社凸版印刷

©凸版印刷株式会社

静まり返った夜の博物館――。

地球の長い歴史のなかで誕生した数多くの生物が眠っているなかで、ひととき目を惹く存在、「恐竜」。

彼らの真の姿とは？ その生態は？

そして彼らは本当に滅んでしまったのか…？

遥かなる時を越えて、科学が呼び起こす恐竜の記憶。

B. スペシャル投映

・サカナクション グッドナイト・プラネタリウム

【2017 年 10 月 1 日～2018 年 1 月 31 日】



現代の日本の音楽シーンを牽引するバンド「サカナクション」。音楽と星空を体感できる、サカナクションとのコラボレーション作品です。ドームシアター(プラネタリウム)の音響システム向けにサラウンド化したサカナクションの楽曲がドーム全体を包み込みます。最新の光学式プラネタリウム「Infinium Ⅹインフィニウム シグマ」で投映する究極の星空と、サカナクションの音楽が融合した非日常的な空間をお楽しみいただきました。

作品のナレーションをサカナクションボーカルの山口さんが担当し、サカナクションの文学性の高い歌詞とナレーションがシームレスにつながる番組となりました。

・Feel the Earth Music by 葉加瀬太郎

【2018 年 2 月 2 日～2018 年 5 月 30 日】



もしも宇宙へ行けたら。私たちの目に、地球はどのように映るのでしょうか？

暗闇の中に輝く、青い星。たくさんの命が生まれる星。音楽が世界をつなぐ星。

作品のテーマは“地球”。遥か宇宙から地球を眺め、その尊

さ、美しさを感じられる美しい映像とともに「Etupirka(エトピリカ)」
©コニカミノルタプラネタリウム(株) / (株)さらい (株)ローソン HMV エンターテインメント

「ひまわり」をはじめとした名曲の数々に加え、本作品のために書き下ろされた新曲「銀河のものがたり」が流れました。

聴く人の心を癒す葉加瀬太郎さんの音楽、ドームいっぱい広がる満天の星々、そしてオリジナルのアロマによる共演はまさに“究極のヒーリング”と言える番組となりました。

2) スペシャルイベント(STARRY NIGHT JAM)



星々が輝く美しい夜空と、ゲストが生みだすクリエイティブな時間

満天に広がる星の下で、星座や宇宙を楽しむ場所、ドームシアター。福岡市科学館は、ここでしか体験できない感動を生みだしたいと思い、さまざまな分野を融合させたイベントを定期的開催しました。音楽、アート、映像、語りなど、毎回、各分野で活躍するゲストを招き、星空の下で味わう感動の体験、それが、ドーム

シアターイベント「STARRY NIGHT JAM(スターリーナイトジャム)」です。

最新鋭の投映機と直径 25m のドーム空間、輝く美しい星、音、そして、音から生まれる波…。星々が輝く美しい夜空を、全身で味わえる特別な時間をお楽しみいただきました。

実施日		イベント名	実施回数	利用者数
10月	14日	手島葵スペシャルライブ	2	410
	28日	ALTER EAGOスペシャルライブ	1	102
11月	4日	爆笑！星のお兄さんプラネタリウムショー	2	430
	18日	スペシャルトーク 皆既日食を体験しよう！	2	126
12月	9日	スペシャルトーク Live!オーロラ	2	430
	23日	クリスマス・クラシック・コンサート	2	430
1月	13日	Live!オーロラ × COSMIC DANCE	2	283
	20日	Live!オーロラ × Electronic Wave	2	270
2月	11日	TEAM SURPRISE スペシャルライブ	2	136
	24日,25日	～声優星空プラネタリウム～ ほし×こえ	4	864
3月	10日	ずんだれ スペシャルライブ	2	34
	24日	春休みスペシャル！軌道星隊シゴセンジャー プラネタリウムショー	2	57

・手島葵スペシャルライブ【2017 年 10 月 14 日】



プラネタリウムの輝く星空の下で、心に響く感動を

ドームシアターイベント「STARRY NIGHT JAM」、その初回を飾るスペシャルゲストに、手島葵さんをお招きし、特別番組とライブをお送りしました。

・ALTER EAGO スペシャルライブ【2017 年 10 月 28 日】

エレクトリックで透明なメロディラインが星空の下で、未知の感動を届ける

ドームシアターイベント「STARRY NIGHT JAM」第 2 弾は、福岡で大注目のエレクトロバンド ALTER EAGO をゲストに迎え、天空に舞う星空の下で、エレクトリックでありながらも透明感のあるメロディラインを堪能できるスペシャルライブを開催しました。

・爆笑！星のお兄さんプラネタリウムショー【2017 年 11 月 4 日】



笑いのブラックホールに吸い込まれてみませんか？

福岡市科学館ドームシアターに「星のお兄さん」が初登場！星のお兄さんの軽快でユーモアたっぷりの星空解説は大爆笑の連続。笑いながら星空と宇宙のロマンを体感いただきました。

・スペシャルトーク 皆既日食を体験しよう！【2017 年 11 月 18 日】

全天周で日食を再現？

今年 8 月 21 日北アメリカ大陸を横断し話題になった皆既日食を、福岡市科学館ドームシアターのリアルな全天映像で再現します。ゲストには、日食ハンターとしても有名な和歌山大学 尾久土正己教授と宇宙飛行士を目指しているタレントの黒田有彩さんをお迎えし、日食のしくみや実際の体験談など素敵なトークショーを行いました。

・スペシャルトーク Live!オーロラ【2017 年 12 月 9 日】

アラスカの夜空をドーム空間で生中継

九州最大級の大きさを誇る福岡市科学館のドームシアターで、米国 アラスカの夜空に輝くオーロラをリアルタイムで中継します。Live!オーロラとは、アラスカの山奥の観測所に設置された撮影システムの映像をスマホやパソコンなど多媒体でリアルタイムに体感できる生中継プロジェクトで、2006年から10年以上、世界中の人々へ配信されてきました。今回のイベントでは、本プロジェクト開発者である有限会社遊造 古賀祐三氏をお招きし、オーロラライブ中継上映の他、膨大な撮影データベースから、これまで知らなかったオーロラの様々な姿や、プロジェクトの様子をお話しました。

・クリスマス・クラシック・コンサート【2017 年 12 月 23 日】



クリスマスの特別な一夜をプラネタリウムで

九州最大級のドームシアター(プラネタリウム)から降り注ぐ満天の星の下で、ヴァイオリン・チェロ・ピアノのクラシック演奏が織りなす一夜限りのアンサンブルと、クリスマスにまつわる限定の星空解説を実施しました。ヴァイオリンに、完璧な技術に裏打ちされた深く美しい音色で聴衆を魅了し続ける上里はな子、ピアノに、チェコのウィハン弦楽四重奏団と共演する岡直美、そしてチェロに、TOKYO STAR ORCHESTRA のチェロ首席奏者としてジャパンツアーを同行する田元真木を迎えた、クリスマスの特別な一夜をプラネタリウムでお過ごしいただきました。

・Live!オーロラ × COSMIC DANCE【2018 年 1 月 13 日】

クリエイターの古賀祐三が手掛けるオーロラ生中継「Live! オーロラ」と、福岡を拠点に国内外で活躍する DJ 中尾モンチによるエレクトロミュージック「COSMIC DANCE」のコラボレーションイベントを開催しました。アラスカからライブ中継されるオーロラを眺めながら心地よいサウンドをお楽しみいただきました。

・Live!オーロラ × Electronic Wave【2018 年 1 月 20 日】

クリエイターの古賀祐三が手掛けるオーロラ生中継「Live! オーロラ」と、福岡を拠点に活動するサウンドファシリテーターatk によるオーロラに寄り添う柔らかな電子音響とのコラボレーションイベントを開催しました。ライブ中継されたアラスカからのオーロラを眺めながら、ゆっくりと心穏やかな時間をお楽しみいただきました。

・TEAM SURPRISE スペシャルライブ【2018 年 2 月 11 日】



全天周の星空とコーラスが、初めて出会う、響き合う

様々なジャンルをルーツにもつ男女 7 人で構成された、福岡を拠点に活動するコーラスグループ「TEAM SURPRISE」によるスペシャルライブを開催しました。著名アーティストのコーラスも務める実力派の彼ら。冬の星空を眺めながら、パワフルかつハッピーな歌声のハーモニーをお楽しみいただきました。

・～声優星空プラネタリウム～ ほし×こえ【2018 年 2 月 24 日、25 日】

AIR AGENCY 代表であり、声優の藤原啓治がプロデュースする【プラネタリウム】と【声】のコラボレーション朗読会「ほし×こえ」。

満天の星の中、心温まるひと時をお過ごしいただきました。

・ずんだれ スペシャルライブ【2018 年 3 月 10 日】



長崎県対馬で活動する、島ポップユニット「ずんだれ」によるスペシャルライブを開催しました。

Web 上で 100 万回以上再生されている彼らの代表曲「Kizuna」は卒業をテーマにしています。3 月という卒業の季節に、満天の星空の下で皆さんの節目をお祝いしました。

・春休みスペシャル！軌道星隊シゴセンジャー プラネタリウムショー【2018 年 3 月 24 日】



福岡市科学館ドームシアターにシゴセンジャーが初登場！

プラネタリウムで星空解説をしていると、突然、ブラック星博士が乱入。解説台はのっとられ、ブラック星博士のさむいダジャレで星空がめちゃくちゃに！シゴセンジャーたちは、ブラック星博士から福岡の星空をまもることができるのか！！

(4) その他教育普及事業に関する業務

① 演示

1) サイエンスショー運営業務

基本展示室の展示とは異なる科学とその見方を感じ取ってもらえるよう、来館者とコミュニケーションを取りながら展開する実験ライブを実施しました。学校休業日は1日6公演、平日は2公演実施。



<空気ってなあに？>

月	名称	実施回数
10月	空気ってなあに？	38
	光と音楽のロボット	36
	上空400km、ISSの世界	20
11月	空気ってなあに？	36
	光と音楽のロボット	36
	上空400km、ISSの世界	20
12月	空気ってなあに？	35
	光と音楽のロボット	35
	上空400km、ISSの世界	22
1月	空気ってなあに？	39
	光と音楽のロボット	39
	上空400km、ISSの世界	26
2月	風・なぜ？不思議だぜ！	33
	ドキドキ！おどろき！静電気！	33
	意外と知らない！？綱引きの科学	18
3月	風・なぜ？不思議だぜ！	43
	ドキドキ！おどろき！静電気！	43
	意外と知らない！？綱引きの科学	30

2) ワークショップ(テーブルサイエンス)運営業務

様々な分野の科学に対する興味・関心を持ってもらえるよう、科学実験の演示、科学の原理・原則の解説や参加型のプログラムなどを実施しました。

基本展示室内の2カ所に配置されたサイエンステーブルで、毎日10回ずつ実施。



＜このホネ、誰の骨？＞

月	名称	実施回数
10月	光と色	70
	この音聞こえる？	110
	ミクロの世界をのぞいてみよう	80
11月	光と色	88
	この音聞こえる？	38
	ミクロの世界をのぞいてみよう	97
	心臓の音をきいてみよう	37
12月	ミクロの世界をのぞいてみよう	35
	心臓の音をきいてみよう	58
	光の不思議	85
	この骨、誰の骨？	62
1月	ミクロの世界をのぞいてみよう	40
	心臓の音をきいてみよう	62
	光の不思議	90
	この骨、誰の骨？	68
2月	ミクロの世界をのぞいてみよう	48
	光の不思議	72
	静電気を体験しよう！	60
	水のふしぎを考えよう！	60
3月	ミクロの世界をのぞいてみよう	71
	光の不思議	69
	この骨、誰の骨？	71
	水のふしぎを考えよう！	48

3) 展示解説・案内

5 階 基本展示室内の展示について、福岡市科学館職員が来館者に対し、1 日 8 回解説・案内を実施しました。

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施回数	208	208	192	208	192	224

② 体験学習

1) 体験学習プログラム・イベント実施業務

A. 科学体験教室

幼児や小中学生、高校生など、幅広い世代に対し、
科学の原理・原則に基づいた科学実験を実施しました。

土日祝のみ実施。



<磁石の不思議を体験しよう>

実施日		名称	実施回数	定員	参加者数
10月	1,7,8,9	色が変わる液体	8	15	105
	14,15,28,29	磁石の不思議を体験しよう	8	15	115
	21,22	電池をつくろう	4	15	54
11月	3,4,5	磁石の不思議を体験しよう	6	15	88
	11,12	色が変わる液体	4	15	54
	18,19 23,25,26	電池をつくろう	10	15	152
12月	2,3,9,10	磁石の不思議を体験しよう	8	15	98
	16,17	顕微鏡を使ってみよう	4	15	40
	23,24 25,26,27	光であそぼう！	10	15	152
1月	2,3,4,5,6,7,8	顕微鏡を使ってみよう	14	15	206
	13,14,20,21	光であそぼう！	8	15	126
	27,28	磁石の不思議を体験しよう	4	15	53
2月	3,4	光であそぼう！	4	15	59
	10,11 12,17,18	音のひみつ	10	15	150
	24,25	顕微鏡を使ってみよう	4	15	54
3月	3,4	磁石の不思議を体験しよう	4	15	62
	10,11,29,30	音のひみつ	8	15	108
	17,18,21,31	光であそぼう！	19	15	192

B. ものづくりプログラム

身のまわりにある材料を使ったものづくりを体験、科学の原理・原則を楽しみながら学べるプログラムを実施しました。
土日祝のみ実施。



<光る恐竜マグネットを作ろう！>

実施日		名称	実施回数	定員	参加者数
10月	1,2	おどろき盤をつくろう	4	40	220
	1,7,8,9 28,29	紙コップでつくるロボットアーム	12	40	360
	14,15	ぶんぶんゴマをつくろう	4	40	146
	21,22	光の魔法！ステンドテープをつくろう	4	40	148
11月	3,4,5	ぶんぶんゴマをつくろう	6	40	240
	11,12,25,26	紙コップでつくるロボットアーム	8	40	292
	18,19,23	ブーメランをつくろう	6	40	240
12月	2,3,9 10,16,17	ブーメランをつくろう	12	40	434
	23,24 25,26,27	バランストンボをつくろう	10	40	340
	2,3,4 5,6,7,8	ブーメランをつくろう	14	40	578
1月	13,14,27,28	バランストンボをつくろう	8	40	247
	20,21	紙コップでつくるロボットアーム	4	40	124
	3,4,10 11,12	リング紙飛行機をつくろう！	10	40	317
2月	17,18,24,25	バランストンボをつくろう	8	40	266
	3,4,10,11	リング紙飛行機をつくろう！	8	40	280
	17,18,29,30	バランストンボをつくろう	8	40	239
3月	21,24,25	光る恐竜マグネットを作ろう！	3	200	590

C. セミナー・講座

科学への興味・関心の入口となるよう、最新の科学情報に関する話題や科学的要素を含んだ流行などの社会動向、来館者の要望などに応じて、様々なテーマでセミナー・講座を実施しました。



<ツタワルカガクシンポジウム>

実施日		名称	実施回数	参加者数
10月	11	家庭の科学「純水のつくりかた」	1	2
	21	「宇宙なひと」に挑戦！①エラトステネス編	2	18
	22	おもちゃ病院	1	7
11月	3	「宇宙なひと」に挑戦！②ガリレオ編	2	22
	11	ロボラボ(ROBOLAB)プログラミング教室	1	19
	23	宇宙なひとをつなぐーフライトディレクタの仕事ー	1	190
	26	おもちゃ病院	1	25
12月	18	特別講演会「ROBOT+ART」	1	6
	25,26	なりきり宇宙飛行士！VR体験	4	556
1月	8	なりきり宇宙飛行士！VR体験	2	342
	13	「宇宙なひと」に挑戦！③アインシュタイン編	2	25
	13	宇宙ビジネス最先端 ～衛星利用とデブリ回収～	1	110
	21	第17回気象教室「九州の天気は遠くの天気が決める？」	1	93
	27	ワークショップ「宇宙政策の未来についてみんなで考える」	1	50
	28	おもちゃ病院	1	12
2月	3	サイエンスアゴラ in 福岡 ～このロボットがすごい～ ロボットフォーラム	1	200
	11,12,25	いたるところに科学 館長ツアー	6	70
	18	ツタワルカガク・シンポジウム	1	34
	23	プリザーブドフラワーでコラージュをつくろう	1	8
	24	JAXAタウンミーティング in 福岡	1	67
	25	おもちゃ病院	1	3
3月	17	おもちゃ病院	1	15
	18	グリーンフューチャーラボ ～みんなが花を育てたくなるデザインを考えよう！～	1	29
	18	出張セミナー「芸エアート＆サイエンスカフェ」	1	52
	25	『CAP2018 in 福岡』関連イベント 市民向け講演会 「宇宙は何でできているのか」	1	263

D. サイエンスカフェ

科学者との関わりや会話によって、科学への興味を深掘りし、最新の科学情報に関する話題や科学的要素を含んだ流行などの社会動向について、科学者と科学について気軽に語り合う場を設置しました。



＜カスピ海乳酸菌講座＞

実施日	名称	講師	参加者数	内容
10月 18	走れる身体をどこからつくる？ -栄養科学で福岡ライフをもっと楽しく！-	松隈 美紀 (中村学園大学栄養科学部 フードマネジメント学科 教授)	100	福岡マラソン実行委員会と連携 動ける！走れる！「栄養科学の魅力 身体づくりの ための食事」を学ぶ
11月 22	世界の見方を変える 『まなざしのデザイン』	ハナムラチカヒロ	35	ありふれた場所やモノに、新しい価値を見出す思 考のフレームワークをテーマに、「想像力の使い 方」を高める方法を学ぶ
12月 20	世界は不思議に満ちている -科学的に考えること、調べることの面白 さってなんだろう？-	松村 由利子 (ジャーナリスト・歌人・翻訳家)	20	「小さな疑問を大きな不思議に」 調べることの楽しさや面白さ、科学的マインドをもつ ことで日常生活のなかで得られる発見を学ぶ
2月	発想を広げ思考を深める「連想」の情報学 -連想検索がいざなう情報空間との向き合 い方-	高野 明彦 (国立情報学研究所 教授 NPO連想出版理事長)	16	サイエンスナビでの情報探索の楽しさをとおして、 信頼でき、かつ新しい発想をうみだすための情報を 受け取るサービス構築実現に向けた、情報学の最 前線やその魅力を学ぶ
	カスピ海乳酸菌 -ヨーグルトの粘りの秘密・健康効果-	土居 克実 (九州大学大学院農学研究院 教授) 藤五 要 (フジッコ株式会社 研究開発部)	22	カスピ海ヨーグルトを題材に、乳酸菌の特徴である 粘りや健康効果などについて講義やQ&Aなど対 話形式で学ぶ
3月 7	AI×ビジネスの最前線！	柳瀬 隆志 (株式会社グッディ 代表取締役社長)	48	「流通の現場」で、AIをどのように活用しているの か、ホームセンター「グッディ」の事例をもとに、これ からのAIや科学技術に対するビジネス的な視点、 人材育成の視点について学ぶ

E. 天体観測会

年間を通して、福岡の天空に広がる星々を直接見てもら
う天体観測会を定期的に行ってきました。



＜天体観測会＞

実施日	名称	実施回数	参加者数	内容
12月 26	師走、上弦のお月見会	1	39	上弦の月と星の観測
1月 21,31	天体観測会	2	60	21日上弦の月と星の観測、31日満月観測 ※1月11日は天候不良のため中止
2月 15,18,22	天体観測会	3	53	冬の星座の観測 ※2月4日は天候不良のため中止
3月 4,14 24,25	天体観測会	4	1,377	4日昼の天体観測、14日冬の星座の観測 24,25日月の観測 ※3月21日は天候不良のため中止※CAP観望会含む

F. フィールドワーク

福岡市内各所を巡り、身近なまちの景色のなかにある
「科学」を発見・体感する体験学習を実施しました。



＜サイエンススポットまち歩き＞

実施日	名称	実施回数	参加者数	内容
2月 24	サイエンススポットまち歩き	1	11	六本松周辺のサイエンススポット巡り
3月 29	セメント工場見学	1	23	田川市にあるセメント工場を見学

2) ロボスクエアに関する運營業務

YOKA ロボまつり、ヒューマノイドカップロボットバトル大会、ロボカップジュニア、スカベンジャーロボット競技部門九州大会、ロボメカトロニクスデザインコンテスト、小学校出張講座の6つの事業開催と、ロボカップジュニア、スカベンジャーロボット競技部門九州大会など各コンテスト出場のための講座を行いました。



＜スカベンジャーロボ＞

実施日		名称	場所	実施回数	参加者数
11月	26	ロボカップジュニア関連大会	サイエンスホール	1	200
	27,29,30	村田製作所	市内小学校5校	ショー2回+3校	120+189
12月	9	ロボメカデザインコンペ	サイエンスホール	1	70
	23	YOKAロボまつり 二足歩行ロボットバトル大会、サッカー大会	オープンラボ	1	29
	23	スカベンジャーロボ競技大会	実験室3	1	9
	24	ロボカップジュニア関連大会	サイエンスホール	1	250
	24	ロボカップジュニア、 ロボッтスカベンジャー関連工作室	実験室3	1	9
1月	7	YOKAロボまつり 二足歩行ロボットバトル大会、サッカー大会	オープンラボ	1	1,236
	7	ロボカップジュニア関連大会	サイエンスホール	1	200
	7	ロボカップジュニア、 ロボッтスカベンジャー関連工作室	実験室3	1	9
	6,20	スカベンジャーロボ競技大会	工作室1オープンラボ	2	482
2月	11	ヒューマノイドカップロボットバトル大会	サイエンスホール	1	845

3) クラブ活動

将来を担う人材を育成する場として、子どもたちが継続的に学び、共に科学を学ぶ仲間づくりができるよう、自らの興味や関心に応じて自由に参加できるクラブを設置し、高校生以上に対しては、高度な技術や深い学習が身につくようなクラブ活動を展開しました。

・クラブ活動一覧

クラブ名	対象者	講師	募集定員
無線クラブ	小学校4年生～高校3年生	城戸 伸夫	25人
発明クラブ	小学校4年生～小学校6年生	大村 健二	12人
ネイチャークラブ	小学校4年生～小学校6年生	荒木 信行	20人
ロボットクラブ	小学校3年生以上	北原 達正 吉田 宗可	24人
実験研究クラブ	小学校3年生以上	北原 達正 吉田 宗可	24人
プログラミングクラブ	小学校3年生以上	北原 達正 吉田 宗可	24人
デジタルファブリケーションクラブ	中学校1年生～高校3年生	伊藤 慎一郎	10人
大人のクリエイティブクラブ	高校生以上	anno lab	15人

● 無線クラブ

アマチュア無線技士の資格取得を目標に、アマチュア無線に関する基礎知識を学び、科学館の無線局から国内外のアマチュア無線局と交信を行いました。

実施日	時間	参加者数	実施内容(プログラム等)
11月	12日 9:30～11:30	4	おためし体験
	12日 13:30～15:30	7	おためし体験
12月	10日 9:30～11:30	8	おためし体験
	10日 13:30～15:30	11	おためし体験
1月	7日 10:00～12:00	13	開校式・無線の紹介・活動内容の紹介
	21日 10:00～12:00	13	モールス符号・国家試験対策について
2月	4日 10:00～12:00	9	モールス符号受信練習・法規・無線受信練習
	18日 10:00～12:00	12	モールス聞き取り・電気・キークリック
3月	11日 10:00～12:00	13	モールス聞き取り・アンテナについて法規
	18日 10:00～12:01	13	モールス練習・法規・国家試験問題対策

● 発明クラブ

木や紙、金属や樹脂などいろいろな素材の特性を知り、加工機械や工具の使い方を学び、自分のアイデアを構想し、具体化するモノづくりを行いました。

実施日		時間	参加者数	実施内容(プログラム等)
11月	18日	10:00～12:00	5	おためし体験
	18日	13:30～15:30	6	おためし体験
12月	2日	10:00～12:00	8	おためし体験
	2日	13:30～15:30	5	おためし体験
1月	13日	10:00～12:00	9	木材加工・フォトフレーム作製
	27日	10:00～12:00	9	プラスチック加工・光るアクリル 星座プレート①
2月	3日	10:00～12:00	10	金属加工・ペーパーナイフ作製
	17日	10:00～12:00	8	プラスチック加工・光るアクリル 星座プレート作製②
3月	10日	10:00～12:00	10	カムやクランクを使った動く工作 からくりおもちゃ①
	24日	10:00～12:00	7	カムやクランクを使った動く工作 からくりおもちゃ②

● ネイチャークラブ

顕微鏡や天体望遠鏡、方位磁石などの器具の使い方を学び、普段とは違ったアプローチで身近な自然の観察・体験を行いました。

実施日		時間	参加者数	実施内容(プログラム等)
11月	18日	15:00～17:00	9	おためし体験
	25日	15:00～17:00	5	おためし体験
12月	2日	15:00～17:00	9	おためし体験
	16日	15:00～17:00	14	おためし体験
1月	20日	10:00～12:00	18	顕微鏡を使おう
	27日	10:00～12:00	15	天神で化石探し
2月	3日	10:00～12:00	15	静電気で遊ぼう
	24日	19:00～21:00	18	冬の星たちに出会おう
3月	3日	10:00～12:00	15	方位磁石を作ろう
	18日	10:00～12:00	15	バルーンロケットをとばそう

● ロボットクラブ

コンピュータ内蔵の本格的ロボット教材を使い、自由な発想でロボットの動きをプログラムし、本物の火星探査ロボットと同じ機能を持つロボット作りを行いました。

実施日		時間	参加者数	実施内容(プログラム等)
11月	19日	9:30～12:00	14	おためし体験
	26日	9:30～12:01	20	おためし体験
12月	3日	9:30～12:02	24	おためし体験
	17日	9:30～12:03	22	おためし体験
1月	14日	10:00～13:00	24	センサー1個のプログラムをマスターする
	28日	10:00～13:00	21	センサー2個のプログラムに挑戦
2月	11日	10:00～13:00	22	ライントレースができるようになる
	25日	10:00～13:00	22	様々なセンサー2個のプログラム
3月	11日	10:00～13:00	22	優先度と閾値 今までの振り返り
	29日	10:00～13:00	21	コンテストで結果を残す

● 実験研究クラブ

ガリレオやニュートンの実験を再現したり、ノーベル賞受賞者の実験にチャレンジしながら、測定、分析、発表までを学びました。

実施日		時間	参加者数	実施内容(プログラム等)
11月	19日	13:30～15:30	14	おためし体験
	26日	13:30～15:30	9	おためし体験
12月	3日	13:30～15:30	27	おためし体験
	17日	13:30～15:30	21	おためし体験
1月	21日	10:00～12:30	20	ニュートンに挑戦！重力加速度を求めよう
2月	4日	10:00～12:30	21	重力加速度を求めよう！まとめ編
	18日	10:00～12:30	21	温度の変化を測定しよう
3月	4日	10:00～12:30	21	温度の変化を測定しよう②
	18日	10:00～12:30	19	発表会に向けての練習
	31日	10:00～12:30	17	成果発表会

● プログラミングクラブ

プログラム未経験者でも解りやすいよう、ステップアップ式にプログラミングを学び、タブレットやパソコンで実際に使えるアプリの製作を行いました。

実施日		時間	参加者数	実施内容(プログラム等)
11月	25日	9:30～11:30	25	おためし体験
	25日	13:30～15:30	16	おためし体験
12月	9日	9:30～11:30	24	おためし体験
	9日	13:30～15:30	20	おためし体験
1月	21日	13:30～16:00	21	スクラッチを使ってみよう
2月	4日	13:30～16:00	19	スクラッチで変数を使ってみよう
	18日	13:30～16:00	20	スクラッチ総まとめ ゲームを作ってみよう
3月	4日	13:30～16:00	18	エクセルVBAにチャレンジ
	18日	13:30～16:00	17	発表会用のプログラムを作ろう
	31日	13:30～16:00	16	成果発表会

● デジタルファブリケーションクラブ

3Dプリンタやレーザーカッターなど、最新のデジタル工作機器の使い方やデータの作り方を学び、自分で考え、さまざまなものの製作を行いました。

実施日		時間	参加者数	実施内容(プログラム等)
11月	12日	9:30～11:30	2	おためし体験
	12日	14:00～16:00	2	おためし体験
12月	3日	9:30～11:30	1	おためし体験
	3日	14:00～16:00	2	おためし体験
1月	6日	10:00～12:40	4	開校式・デジタルファブリケーションとは
	21日	10:00～12:40	4	レーザーカッターを使ったものづくり (CADの使い方)
2月	3日	10:00～12:40	4	3Dプリンタを使ったものづくり (3D CAD)
	17日	10:00～12:35	3	3Dプリンタを使ったものづくり (3D CAD)
3月	3日	10:00～12:40	3	手描きイラストからレーザーカッターで ハンコを作ろう！
	17日	10:00～12:30	2	作りたいものを作る 個人作製 修了式

● 大人のクリエイティブクラブ

プロのクリエイターからコマ撮りや実写撮影など映像制作技術を学び、全天周カメラを使った福岡市科学館ドームシアター用の 360 度映像の CM づくりを行いました。

実施日		時間	参加者数	実施内容(プログラム等)
11月	8日	18:00～20:00	0	おためし体験
	22日	18:00～20:00	1	おためし体験
12月	6日	18:00～20:00	5	おためし体験
	20日	18:00～20:00	3	おためし体験
1月	10日	18:00～20:30	3	オリエンテーション・モーションを考える
	24日	18:00～21:00	3	表現を考える
2月	7日	18:00～21:00	2	ストーリーを考える
	21日	18:00～20:30	1	ドームシアター映像コマドリ
3月	7日	18:00～21:15	2	ドームシアター映像コマドリ
	28日	18:00～21:00	2	ドームシアター映像仕上げ

③ 学校連携

1) 学校支援業務

・1日学習

福岡市立の小学校 4 年生を対象とし、基本展示室体験、ドームシアター体験、サイエンスショー体験プログラムを中心に、学校の要望に応じて複合的な学習を展開しました。

・受け入れ実績

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	26	26	17	25	29	9	132
人数	2,025	2,745	1,639	2,404	2,954	894	12,661

・1 日の時間割例(当日の参加学校数や児童数により、変動)

項目	9:30～		10:00～		11:00～		12:00～		13:00～		14:00～
最大3クラス 約100名	朝 の 会	移動	プラネタリウム	移動	基本展示室 体験	移動	昼休み	移動	サイエンス ショー	移動	帰 り の 会
最大3クラス 約100名	朝 の 会	移動	プラネタリウム	移動	サイエンス ショー	移動	昼休み	移動	基本展示室 体験	移動	帰 り の 会

2) 出前授業(移動天文台事業・移動科学館事業含む)

福岡市内の小学校・中学校などを対象とし、学校の依頼に応じて移動天文車や移動科学館車を活用し、天体観測や移動プラネタリウム、サイエンスショー、テーブルサイエンス、科学実験プログラム、ものづくり体験プログラムなどを実施しました。

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問数	0	2	0	0	10	12	24
参加者数	0	211	0	0	744	911	1,866

3) 学校教員との連携

・教員向けセミナー、サイエンスカフェ

実施日	名称	参加者数	講師	備考
10月 11	小学校理科研究会	55	小理研内部講師	定例会・市大会準備会場提供・実験器具提供
11月 8	小学校理科研究会	70	福岡大学 山口政俊学長	定例会会場提供
12月 18	小学校理科研究会・理科研究委員会 代表者との30年度に向けての打合せ	10	なし	平成30年度の連携に関しての打合せ
1月	24 中学校理科研究会代表者との 30年度に向けての打合せ	11	なし	平成30年度の連携に関しての打合せ
	29 福岡市科学館「校長見学会」	25	なし	平成30年度利用に向けて、科学館の設備、 機能等のPR、ニーズ調査
3月 2	平成29年度 福岡市小学校理科研究会 年度末総会	41	なし	教育アドバイザー4名出席 懇親会の場で科学館の理念をお話し 今後の協力をお願いする

④ アウトリーチ活動(移動天文台事業・移動科学館事業含む)

移動天文車や移動科学館を活用し、公民館や公共施設に出向いて、移動プラネタリウム、サイエンスショー、テーブルサイエンス、科学実験プログラム、ものづくり体験プログラム、セミナー・講座、サイエンスカフェ等を実施しました。

実施日	訪問先	参加者数	内容
10月 28	博多図書館	35	博多図書館で市民向けのイベントに、ワークショップ出展
11月 4	福岡市博物館	298	特別展「ルドルフ2世」展に共催で移動プラネを出展
2月 4	名島小学校体育館	190	移動プラネタリウム、ふうせんでロケット
3月	18 防災センター	40	ドローン体験
	26 有田公民館	30	超低温の世界
	26 多々良公民館	16	ドローン体験
	28 小笹公民館	16	プログラミング体験

⑤ サイエンスナビ活動

1) サイエンスナビ

多様な情報を探索できるサイエンスナビシステムや、科学的な思考にいざなう書棚、ミッションボードなどで、科学の楽しさを体感できる空間です。科学館のなかの展示やイベントで関心をもったことを、科学雑誌や図鑑、映像などをつかって深掘りし、科学への関心を広げます。

・連想探索システム

国立情報学研究所連想情報研究開発室と協働し、同室が開発した連想検索エンジン「GETAssoc」を活用し、さまざまな多分野情報源のなかから横断的に関連する情報を収集できるサービス

・サイエンスコンシェルジュ

受付カウンターに質問コーナーを設け、専門的な質問や学習方法など様々な質問に対応、連想検索への誘導や書籍の紹介、外部研究者等の紹介を行うサービス

2) イベント

実施日		名称	参加者数	内容
11月	11	おはなし会	7	おおきなおいも・バナナのはなし・ぐりとぐら・オースッパ・ぜったいたべないからね
12月	17	おはなし会	15	サンタクロースってほんとにいるの？・クリスマスのおかいもの・よるくま クリスマスのまえのよる
1月	20	おはなし会	8	十二支のはじまり、かげええほん、みかんのひみつ、さむがりやのねこ
2月	17	おはなし会	8	ゆき、おかしなゆき ふしぎなこおり、お化けの冬ごもり
3月	24	おはなし会	54	恐竜おはなし会及び折り紙工作



＜恐竜おはなし会＞



＜折り紙工作＞

3) 図書貸出冊数

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
科学館書籍	831	1,116	582	598	683	696	4,506
福岡市図書館	822	2,564	2,832	3,171	3,417	4,146	16,952

4) 季節感の醸成と季節感プロジェクト

来館者がいつ来ても新鮮さを感じていただけるように、季節感を出すことや壁面等を活用する計画があり、サイエンスナビが先行的に実施しました。また、科学館全体で統一して取り組んでいくために、サイエンスナビが中心となり、どのように季節感を出すか決めるプロジェクトを立ち上げました。



<クリスマス>



<お正月>

(5) 交流事業に関する業務

① 地域交流

1) 世界天文コミュニケーション会議 2018 (CAP2018 in 福岡)

天文学者や科学記者、教育関係者などさまざまな立場の人が、最先端の天文系科学の普及や教育を含む「天文コミュニケーション」の取り組みに関するさまざまな情報交換を目的とする国際会議「CAP」を日本で初めて開催しました。



[1] 開催期間 2018 年 3 月 24 日(土)

～2018 年 3 月 28 日(水)

[2] 参加者数 456 人 (参加国・地域 53 ヶ国)

招待講演者 5 人

[3] 講演等 全体講演 24 件、分科会講演 141 件、ポスター講演 111 件、ワークショップ 24 件

[4] 会場 6 階サイエンスホール、ドームシアター、4階実験室 1・2・3、交流室 1

[5] 主催 国立天文台、福岡市、国際天文学連合C2分科会

[6] 共催 総合研究大学院大学、日本天文学会、天文教育普及研究会、日本プラネタリウム協議会、日本公開天文台協会、日本天文愛好者連絡会

[7] 協賛 株式会社ナガセ、ANA セールス株式会社、天文ハウス TOMITA、株式会社五藤光学研究所、有限会社大平技研、三菱電機株式会社、宙ツーリズム推進協議会、やまやコミュニケーションズ、株式会社トータルメディア開発研究所、株式会社 NTT ファシリティーズ、コニカミノルタプラネタリウム株式会社、株式会社西村製作所、合同会社科学成果普及機構、丸善出版株式会社、株式会社ビクセン、富士

通株式会社、株式会社ニコン、有限会社モンコレクション、株式会社オスカープロモーション、Exosphere Group、株式会社石村萬盛堂

- [8] 後援・協力 日本学術会議、JAXA、日本科学技術ジャーナリスト、韓国天文研究院、タイ国天文学研究所バンドン工科大学、國立中央大學、國立清華大學天文研究所、ペルー地球物理学研究所、Astronomers Without Borders、Global Hands-On-Universe、Galileo Teacher Training Program、すばる望遠鏡、世界プラネタリウム協会、Universe Awareness、国際天文学連合国際普及室、臺北市立天文科學教育館、株式会社日本旅行、株式会社西日本新聞イベントサービス

[9] 市民向けイベント

・市民参加能楽&天体観望会

日時： 2018 年 3 月 24 日(土) 能楽:18:30~19:30、天体観望会:19:00~20:30

場所： 能楽:大濠公園能楽堂、天体観望会:大濠公園能楽堂前広場

参加者数(天体観望会): 1000 人

・講演会「宇宙は何でできているのか」

講師： 村山 斉 先生(東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構長)

日時： 2018 年 3 月 25 日(日)19:30~21:00

会場： 6 階サイエンスホール

主催： 福岡市科学館

参加者数： 263 人

2) こどものための博覧会 ワークショップコレクション in 福岡 2018

- [1] 開催期間 2018 年 3 月 31 日(土)
~2018 年 4 月 1 日(日)

- [2] 入場者数 24,000 人 (2 日間)

- [3] 会場 6 階 サイエンスホール
5 階 オープンラボ、工作室
4 階 交流室 1・2、実験室 1・2・3



- [4] 主催 特定非営利活動法人 CANVAS、株式会社グッディ

- [5] 共催 西日本新聞、福岡市科学館

- [6] 後援 文部科学省、福岡県、福岡市教育委員会、一般社団法人九州経済連合会、福岡商工会議所、九州大学、九州工業大学、九州朝日放送、FBS 福岡放送、TNC テレビ西日本、RKB 毎日放送、TVQ 九州放送

② 科学館ファンクラブの登録者数及び運営状況

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規登録者数	979	316	214	220	156	145	2,030
専用Webサイト アクセス数	3,515	1,108	846	846	846	674	7,835
特典提供数	0	0	9	3	6	10	28

③ リポート利用に向けた取り組み

・年間パスポート購入枚数

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大人	3,567	1,202	664	758	386	452	7,029
高校生	54	9	10	6	9	7	95
小・中学生	2,445	925	461	375	211	397	4,814
合計	6,066	2,136	1,135	1,139	606	856	11,938

④ 各種媒体・手法等による広報・情報発信の実施状況

・広報誌、リーフレット、ポスター

実施月	名称	印刷部数	配布先
9月	福岡市科学館 案内リーフレット (日本語、英語)	日本語100,000部 英語10,000部	館内
	ドームシアターリーフレット(冬版)	100,000部	館内
10月	福岡市科学館 案内リーフレット (中国語簡体字版、中国語繁体字版、韓国語版)	10,000部×3種類	館内
	開館告知ポスター及び 開館記念特別展「宇宙なひと」ポスター・チラシ	ポスター232枚×2種 チラシ4,640枚	小学校144校、中学校69校、 高等学校4校、幼稚園7園、 特別支援学校8校
1月	福岡市科学館 案内リーフレット (日本語、英語) 増刷	日本語10,000部 英語5,000部	館内
	ドームシアターリーフレット(春版)	50,000部	館内
2月	福岡市科学館 案内リーフレット (日本語) 増刷	20,000部	館内
	福岡市科学館 季刊誌 「SCIENCE & CREATIVE」Vol.1	10,000部	館内
毎月	来館者向け利用案内 (有料・無料エリア、各種料金、ドーム番組他掲載) アクティビティタイムテーブル	随時	館内

・メディア掲載件数

月	件数	項目	主な取材元等
10月	55	放送、掲載	テレビ(NHK、KBC、RKB、TNC、TVQ、FBS、J:COM)、ラジオ(LOVE FM)、新聞(西日本、朝日、毎日、読売、日本経済、西日本リビング)、雑誌(Newton12月号)他
	20	記事	新聞(西日本、朝日、毎日、読売、日本経済、西日本リビング)、雑誌(ファンファン福岡、Discover Japan 2017年11月号)他
11月	31	放送、掲載	テレビ(KBC、TNC、J:COM)、新聞(西日本、毎日、日本金融通信社)、雑誌等(月刊九州王国)他
	26	記事	新聞(西日本、毎日、日本金融通信社)、雑誌(ファンファン福岡、市政だより)、ホームページ(SHIKUMI DESIGN)他
12月	37	放送、掲載	テレビ(TVQ、KBC、FBS、J:COM)、新聞(西日本、日本経済、西日本、毎日)、雑誌(Newton12月号)他
	26	記事	新聞(西日本、朝日、毎日、読売、日本経済、西日本リビング)、雑誌(FUKUOKA WINDS、せんだいタウン情報S-style)、ホームページ(日本アイ・ピー・エム株式会社、ディスカバーリーチャンネル)他
1月	18	放送、掲載	テレビ(TNC、NHK、KBC)、新聞(西日本、日本経済、西日本、毎日)、雑誌(Newton12月号)他
	13	記事	新聞(朝日、熊日、西日本、毎日)、雑誌(まっぶるマガジン九州、るるぶ等)他
2月	36	放送、掲載	テレビ(KBC)、新聞(西日本、毎日、電波、読売)、雑誌(小学館「小学8年生」)他
	34	記事	新聞(西日本、毎日、電波、読売)、雑誌(小学館「小学8年生」)他
3月	62	放送、掲載	テレビ(FBS、NHK、J:COM、RKB、KBC)、新聞(西日本、読売、朝日、毎日、電波、スポーツ報知)、雑誌(シティ情報ふくおか等)他
	50	記事	新聞(西日本、読売、朝日、毎日)、雑誌(九州じゃらん等)他

・大型取材件数

月	件数	取材企画先、媒体等
9月	1	開館直前報道関係内覧会(特別展含む)
2月	1	開館50万人達成セレモニー
3月	1	恐竜展内覧会

(6) 人材育成、ネットワーク形成事業に関する業務

① 子ども参画

1) こどもプラネタリウムスクール

サイエンスとアートの体験活動やプラネタリウムでの発表を通して、子どもの創造力や表現力、科学館と地域の人をつなぐコミュニケーションデザイン能力を育成し、子どもの参画による科学館運営を進めていくことをめざす。

[1] 開催期間 1月19日(金)～21日(日)ワークショップ、21日(日)成果発表会

[2] 参加者数 ワークショップ 19人、成果発表会 152人

[3] 会場 4階交流室1、6階サイエンスホール、6階ドームシアター

[4] 講師 神崎由布子(舞踏家、演出・振付家)、高橋真理子(宙先案内人)、小林真人(ピアニスト、作曲家)、高宮由美子(特定非営利活動法人子ども文化コミュニティ)



実施日		活動内容	実施回数	参加者数
1月	19,20,21	こどもプラネタリウムスクール	1	19
	19,20,21	こどもプラネタリウムスクール ワークショップ	1	19
	21	こどもプラネタリウムスクール スペシャルライブ(公開ワークショップ)	1	152 (観覧者)



<こどもプラネタリウムスクール>

② 運営サポーター

福岡市科学館の基本理念・運営方針に賛同し、自己の知識・技能をボランティアとして無償で提供いただける方に、運営サポーターとして参画いただき、科学館スタッフと一緒に福岡市科学館を盛り上げていく、ボランティア制度を設置しました。

1) 運営サポーターの募集・育成業務の実施状況

A. 運営サポーター説明会

2017年10月の福岡市科学館開館に向け、運営サポーターを募集するにあたり、運営サポーター制度の概要や活動内容、活動開始までのスケジュールなどについて事前説明会を実施しました。



<運営サポーター説明会>

B. 全体研修

運営サポーターへの応募者に対して、下記4回の研修を実施しました。

1. 福岡市科学館運営サポーター概要、
基本接遇研修など
2. 館内案内、緊急時訓練など
3. 4. 館内展示研修(2回)



<全体研修>

実施日		活動内容	実施回数	参加者数
10月	26,29	第3回 運営サポーター全体研修	2	71
12月	13	館内案内	1	30
1月	13,27 28,31	サイエンスコミュニケーターによる展示研修 科学館館長ツアー 「いたるところに科学」説明会	4	69
2月	18,24 26,28	サイエンスナビ・基本展示室説明会(2回) 「光る恐竜マグネットをつくろう」事前準備 サイエンススポットサポーター研修 基本展示室ツアー-研修	5	71
3月	3,7,8 11,20 22,24	恐竜展研修 サイエンスナビ研修 基本展示室内研修 ボランティアの心得および交流会	7	73

2) 運営サポーター活動参加者数(延べ)

項目	12月	1月	2月	3月	合計
参加者数	61	52	46	43	202

3) 運営サポーター登録者数と内訳

月	新規登録者数	退会	登録者総数	男性	女性	市内	市外
10月	募集なし		71	17	54	71	0
11月	募集なし		71	17	54	71	0
12月	募集なし	1	70	17	53	70	0
1月	募集なし		70	17	53	70	0
2月	募集なし		70	17	53	70	0
3月	募集なし		70	17	53	70	0

4) 分野別活動の例

分野	主な活動内容
館内案内 (日本語・外国語)	日本語や外国語による福岡市科学館内の案内や来館者の対応をサポート
学習支援	福岡市科学館内での学習支援活動(ワークショップやサイエンスショー)をサポート
情報収集	「宇宙」「生命」「生活」「環境」「未来」のジャンルや他館に関する情報の収集・整理をサポート
ナビ	サイエンスナビで、図書資料の整理や修復、来館者の対応やおはなし会等をサポート



<制作作業>



<ワークショップ準備作業>

③ 連携事業

人材育成・ネットワーク形成は、科学館のミッションの大きな柱であり、科学館の理念である「人が育つ」その地域拠点としての科学館を確立することを目指し、公益財団法人日本宇宙少年団 福岡分団と連携し、宇宙および科学に関する教育活動を実施しました。

No	実施日	テーマ	場所	参加者数
1	12月10日	工作を通じて宇宙を学ぼう！！	実験室3	62
2	1月28日	電位工作ツールMESHを使ってアイデアを形にしよう！！	実験室3	64
3	2月25日	火星に基地を作ろう その1	実験室3	45
4	3月18日	火星に基地を作ろう その2	実験室3	77

(7) 調査研究事業に関する業務

① 九州大学との共同研究

平成 29 年度は、九州大学との包括的連携による共同研究「デザイン思考を用いた新しいサイエンスコミュニケーション」の理論を基にした、科学館内での実践・検証を行いました。

また、平成 30 年度以降の九州大学との共同研究事業に関する、研究テーマ・内容等を大学と協議し確定しました。

No	開催日	場所	議題	資料使用
1	5月17日	九州大学 (大橋)	福岡市科学館における人材育成 ーミュージアム・コンシェルジュ/ビジター・リレーショ ンズの育成を目指してー	・みんなの美術館デザインノート ・研修マニュアル
2	6月22日	九州大学 (大橋)	「科学館の設置運営」に関する調査について	・「科学館の設置運営」に関する質問事項
3	7月23日	九州大学 (大橋)	福岡市科学館における教育普及事業について	・福岡市科学館における教育普及事業の展開
4	9月22日	九州大学 (大橋)	福岡市科学館における教育普及事業について	・活動プログラムの作成シート
5	10月19日	福岡市科学館	福岡市科学館における情報提供について	・福岡市科学館における科学情報の収集と発信について
6	11月16日	福岡市科学館	春の企画展:「福岡市科学館の活用法」	・春の企画展:「福岡市科学館の活用法」
7	12月21日	福岡市科学館	「科学館の設置運営」に関する評価事項について	・グリーンフューチャー計画 ・科学館運営に関する評価事項 ・言葉のマップ 調査内容
8	1月19日	福岡市科学館	福岡市科学館における利用者別プログラム フューチャー展示について	・利用者別プログラム ・「福岡市科学館言葉のマップ」
9	2月22日	福岡市科学館	科学館における人材・組織の展開	・科学館の人材・組織の展開

② 外部発表等(執筆等)

伊藤 久徳:多様な「育ちのサードスペース」を

九州経済調査月報 2018 年 2 月号、p.1、2018 年 2 月

③ 外部発表等(口頭発表)

1) 針谷亜希子:科学館×動物園で創るサイエンスコミュニケーションの試みー動物の幸せって、何?ー

日本サイエンスコミュニケーション協会年会第 6 回年会、2017 年 12 月 10 日

ふじのくに地球環境史ミュージアム

2) 伊藤 久徳:福岡市科学館の現状とめざすもの

第 25 回全国科学博物館協議会研究発表大会、2018 年 2 月 15 日、福岡市科学館

(8) 科学館諸室貸出管理業務

・諸室貸出利用件数

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サイエンスホール	1	6	8	8	8	12	43
ドームシアター	0	1	1	1	1	2	6
企画展示室	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	7	9	9	9	14	49

福岡市科学館 年報（平成 29 年度版）
平成 30 年（2018 年）7 月 発行

編集・発行
福岡市科学館

〒810-0044 福岡県福岡市中央区六本松 4 丁目 2 番 1 号
TEL 092-731-2525
FAX 092-731-2530